

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	乳児音声発達の起源に迫る：アジアの言語から見た発達メカニズムの解明
研究代表者	馬塚 れい子（国立研究開発法人理化学研究所・脳科学総合研究センター・チームリーダー） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>幼児は人間言語の全ての音を聞き分ける潜在能力を持つとする説が長らく定説となっていたが、応募者は日本語を母語とする幼児に対する研究でその定説が必ずしも成り立たないことを示す確かな証拠を得た。本研究は、既の実績のある応募者が音声学や心理言語学の専門家及び応募者の国際共同研究ネットワークを駆使した大規模な研究計画であり、欧米言語のみに基づく従来の定説をアジアの言語を対象として批判的に検証するものである。幼児が音韻体系を獲得するプロセスを解明しようとする、実質的かつパラダイムシフトの可能性を持つ研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>